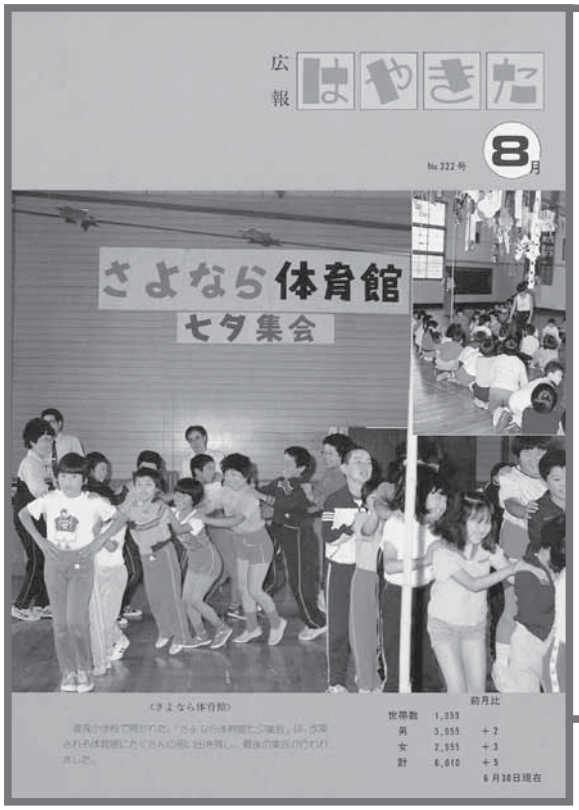
あびら回顧録

～昭和 60 年編

で き ご と	つくば万博開会／日航ジャンボ機墜落／任天堂 スーパーマリオブラザーズ発売
世　　相	ファミコンブーム／全国小中学校で「いじめ」横行／激辛ブーム
歌	タッチ（岩崎良美）／浪花節だよ人生は（細川たかし）／卒業（尾崎 豊）
テ　レ　ビ	少女に何が起こったか／天才！たけしの元気が出るテビ
映画・書籍	ビルマの竪琴／コーラスライン／首都消失／洋子へ



←昭和 60 年 8 月広報はやきたの表紙は、改築される遠浅小学校講堂で最後の「七夕集会」の様子が紹介されていました。

言葉の発達は知能の遅れにもつながるとか。男性の皆さん。女性のおしゃべり好きをあなどってはいけないようです。

←

お母さんしっかり

お茶の水女子大学教授
附属幼稚園園長
外山 滋比古

女のひとはよくしゃべります。ゴシップという英語がありもちろん、そうでない女性もいますけれども、おしなべて、おしゃべりです。わが国だけではなく、外国でも同じようです。こういうと、まあ、ひどい、女をバカにして、リュウビをさか立てる方がいらっしゃるかもしれませんが、そう早まらないで、お聞きください。

なぜだろうか、ということを、男はいうまでもなく、女のひとも考えたことがありません。なにごとによらず、たいてい、ちゃんとしたわけがあるものです。

女性であれば、やがて、母親になります。母親は、赤ちゃんのことばの先生です。赤ちゃんに文字でことばを教えることはできません。すべてを口で言う必要があります。

しかも、一度や二度ではわかりませんから、くりかえし、くりかえし、りかえし聞かせます。そういう先生が、もし、口が重く、ろくにものを言わない、としたらどうでしょう。

いくら赤ちゃんがことばを覚えようとしても、"教材"が不足してはどうすることもできません。ことばの習得がおくれてしまいます。ことばはもの心をつけるモトです。

ことばがおくれれば、知能の発育にもひびかねません。

そんなことになってはたいへんです。そこで神様が、あらかじめ女性をおしゃべりになさったのです。そう考えると、筋道がつきます。だてにおしゃべりなのではありません。

す。語源は、洗礼のときに母代わりをする人のことです。

それが、おしゃべりの女友だちを経て、いまの"うわさ話"の意味になりました。

それはともかく、おしゃべりは女性の誇るべき特性です。われわれはそれに感謝しなくてはなりません。あざわらったり、赤ちゃんに使わずにはかへ流用したりしては、それこそバチが当たります。

昭和 60 年 7 月末人口
5,997 人（男：3,044 人／女 2,953 人）

昭和 60 年 8 月広報おいわけの表紙は、「手をあげて → 横断歩道をわたりましょう」。交通安全青空教室の模様を紹介しています。

→いじめや犯罪、非行など、子どもに異変が起きるのは長期間のお休みからと言われています。今一度、ご家庭で話し合ってみませんか。

友達づきあいは人間形成の基礎

子供は遊びやけんかを通して成長する

子供は乳児期を過ぎると、外に出て遊びたがり、友達をつくるようになります。しかし、それまで保護者に見守られながら育ったため、その遊び方は自己中心的で、初めのうちは友達とうまく協調し合うことができません。遊んでいても、すぐにおもちゃの奪い合いや場所の取り合いを始めてしまいます。

しかし、保護者の手から友達とのつきあいへと行動範囲を広げた子供は、やがて遊びやけんかなどの経験を通して、自分を主張したり、相手の主張を受け入れたりすることを学んでいきます。同時に、大人になってからの人間関係の基礎や守るべき社会の習慣を身につけていくのです。

"友達づきあい"に影響する家庭のしつけ

子供が小・中学校へと進み、団体生活を始めるようになると、友達づきあいにも個人差が出てきます。

一般に、つきあい方の下手な子供は、自分の気持ちを友達にうまく伝えることができずに、孤立してしまったり、活発な友達の言いなりになってしまうことがあります。一方、自己中心的で他人の気持ちに気を配ることのできない子供は、友達に対して独善的な振舞いをしがちです。

このようにつきあい方の上手、下手は、子供一人一人の資質によることもあります。しかし、それにもまして家庭でのしつけのあり方、乳児期以降に友達づきあいの経験をどれだけ多く積んできたか、などによる影響のほうが大きいのではないでしょうか。

人間形成の基礎となる子供の"友達づきあい"――保護者の方は、その重要性を理解し、子供の健全な成長の後押しをしてあげたいものです。

親の"モノサシ"では測れない現代の子供たち

親が子供をしつけるとき、親は自分の子供時代を基準に考えがちです。しかし、親と子供の間には、一般に20年から30年の年月の開きがあり、どうしても親の"モノサシ"では測れない問題が出てきます。

子供へのしつけや友達づきあいについて考える前に、親は、現代の子供たちを取り巻く次のような状況をまず知る必要があるのではないでしょうか。

★世帯あたりの子供の数が減り、その結果、兄弟間でもまれることが少なくなった

★家庭での勉強時間が増えたり、塾、けいこ事などに通う子供が多くなったため、友達と遊ぶ機会が減った

★特に都市部などでは、隣近所と親しくつきあう家庭が少なくなり、近隣の子供同士、特に年齢の異なる子供同士の遊ぶ機会が減った

★テレビ、漫画本、ガん具などの影響で、家の中で独り遊びをする傾向が強くなった

昭和 60 年 7 月末人口
4,829 人（男：2,369 人／女 2,460 人）

◀このページに関するお問い合わせは総務課情報グループ（☎㉒2511）まで